

2011年3月期 決算説明資料

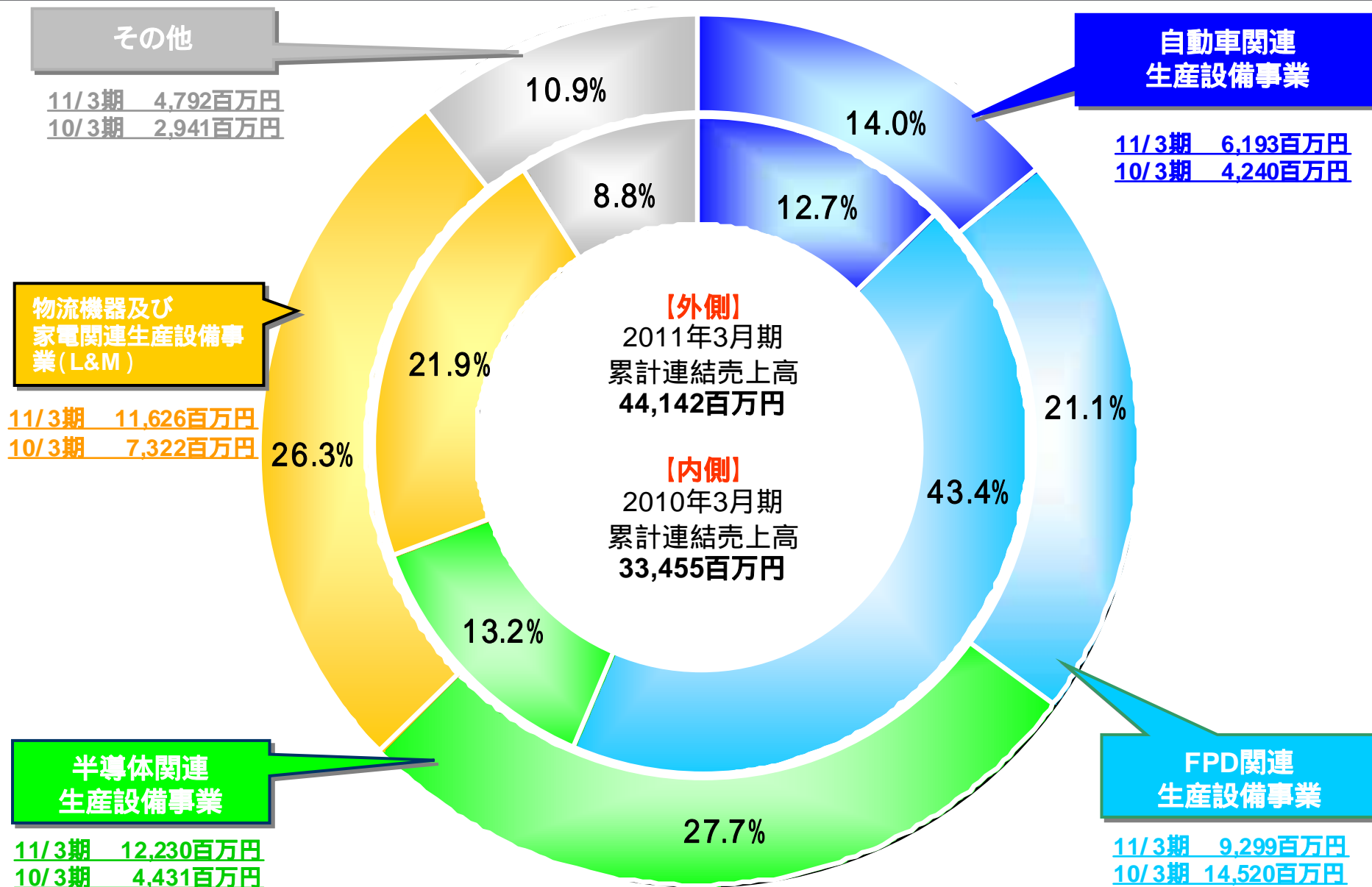
平田機工株式会社 2011.5.24



決算状況

2011年3月期（2011年3月31日）

決算状況 事業部門別売上高構成比



決算概要

連結売上高は、半導体関連やタイヤ関連が好調で、大型案件を受注した自動車関連と合わせ、全体では前期比30%を超える。

連結営業利益、経常利益、当期純利益は、増収に加え一層のコスト低減等により対前期比大幅増。

連結決算

(単位:百万円)

項目	2010年3月期 実績	2011年3月期				
		期初計画	修正計画 (2011/2/10発表)	実績	達成率 (対期初計画)	前期比 増減率
売上高	33,455	34,000	43,000	44,142	+29.8%	+31.9%
営業利益	364	300	1,000	1,781	+494.0%	+389.1%
経常利益	180	100	800	1,554	+1,454.8%	+759.1%
当期純利益	43	125	600	941	+653.5%	+2,041.7%

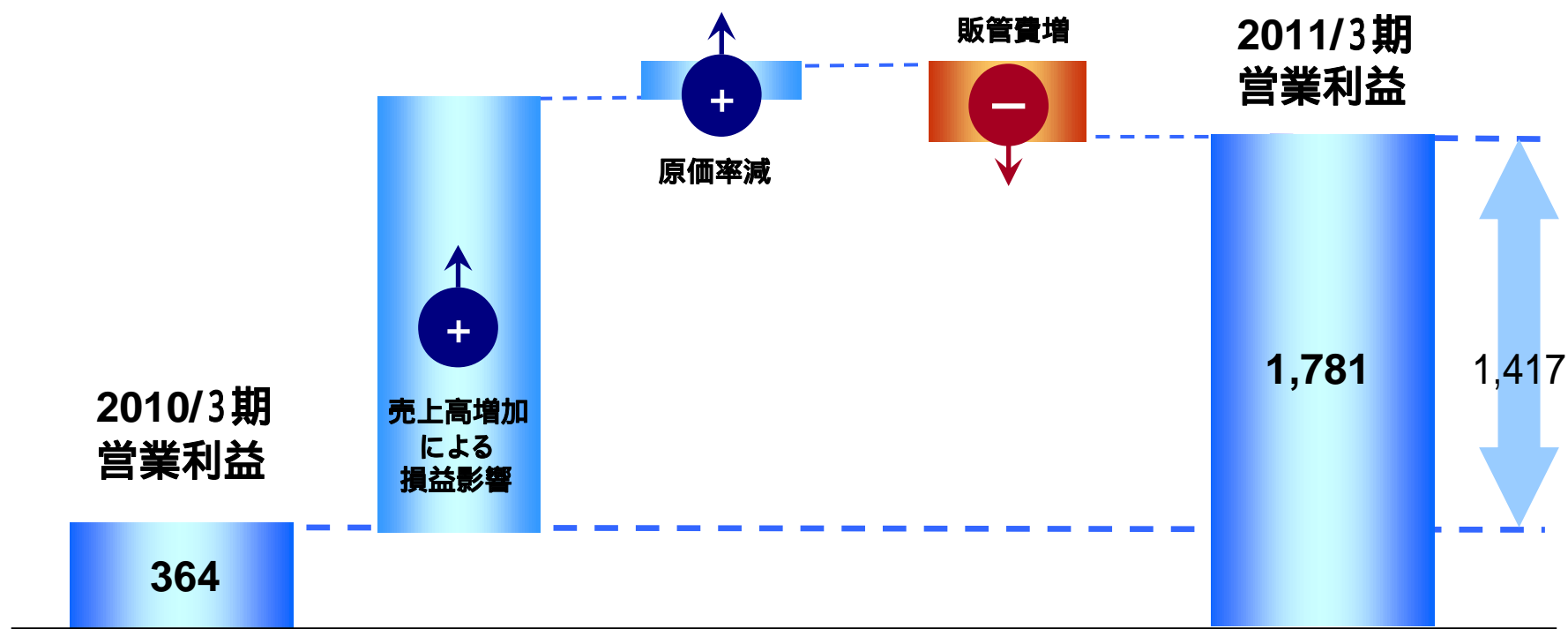
単体決算

(単位:百万円)

項目	2010年3月期 実績	2011年3月期				
		期初計画	修正計画 (2010/2/10発表)	実績	達成率 (対期初計画)	前期比 増減率
売上高	27,074	27,000	33,800	35,014	+29.7%	+29.3%
営業利益	475	200	1,200	1,683	+741.5%	+253.7%
経常利益	321	50	1,000	1,544	+2,989.2%	+380.7%
当期純利益	322	100	900	1,107	+1,007.6%	+243.0%

決算状況 営業利益の増減要因分析

(単位:百万円)



決算状況 事業部門別連結売上高

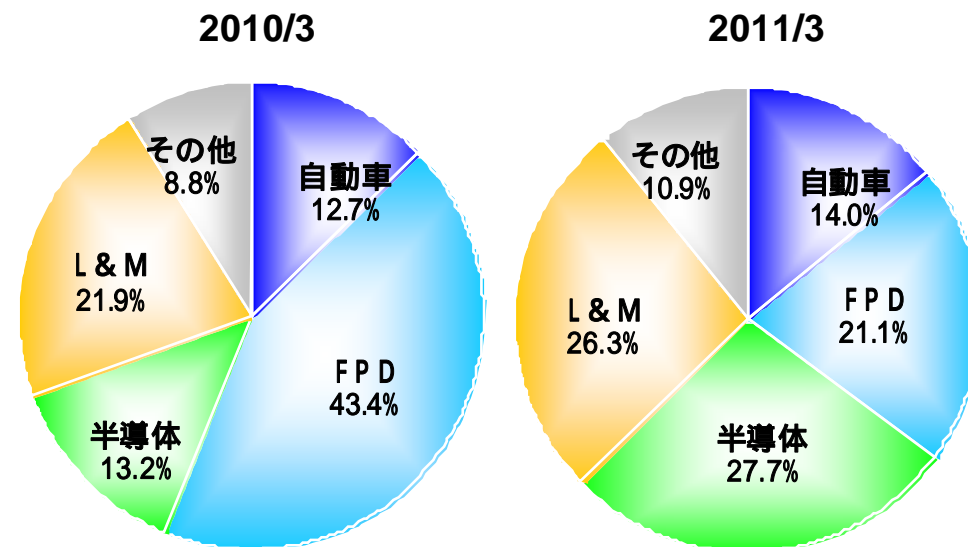
半導体市場の回復、タイヤ関連および自動車関連の大型案件売上などにより増収。

- ・ 自動車関連設備 : 北米向け大型案件の売上などにより堅調に推移し、増収(+46.1%)
- ・ FPD関連設備 : 中国向け案件や太陽電池関連の売上もあったが、前期には及ばず減収(-36.0%)
- ・ 半導体関連設備 : 市場の回復に加え、大型の製造委託案件の売上により大幅に増収(+176.0%)
- ・ L & M関連設備 : 特にタイヤ関連の堅調さにより大幅に増収(+58.8%)

事業部門別売上高の状況

単位:百万円

事業部門	2010/3	2011/3	前期比増減率
自動車	4,240	6,193	+46.1%
FPD	14,520	9,299	-36.0%
半導体	4,431	12,230	+176.0%
L & M	7,322	11,626	+58.8%
その他	2,941	4,792	+62.9%
合計	33,455	44,142	+31.9%



決算状況 事業部門別連結受注高

半導体関連、自動車関連を中心に堅調に推移し、大幅に増加。

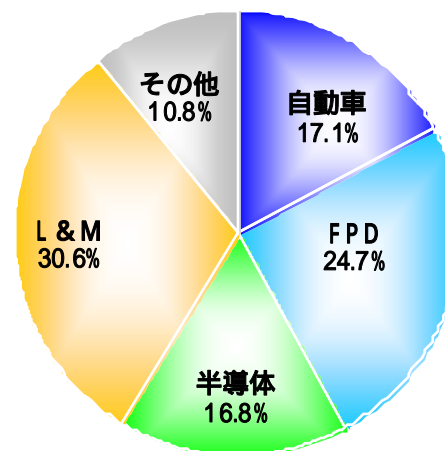
- ・ 自動車関連設備 : 複数の北米向け大型案件等により大幅増 (+ 114.7%)
- ・ FPD関連設備 : 国内向けの案件に加え、中国向けの大型案件の受注により大幅増 (+ 65.3%)
- ・ 半導体関連設備 : 市場の回復および大型の製造委託案件の受注で大幅に増収 (+ 221.3%)
- ・ L & M関連設備 : タイヤ関連、家電関連等が堅調に推移し、増加 (+ 14.6%)

事業部門別受注高の状況

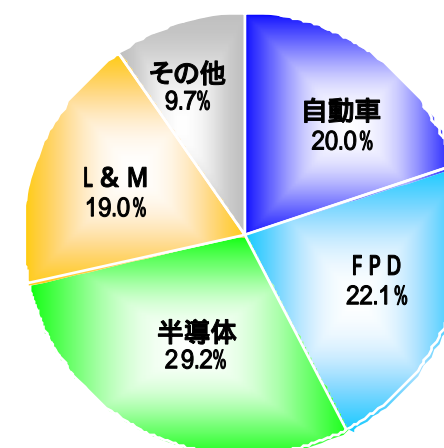
単位:百万円

事業部門	2010/3	2011/3	前期比 増減率
自動車	4,743	10,185	+ 114.7%
FPD	6,832	11,295	+ 65.3%
半導体	4,634	14,892	+ 221.3%
L & M	8,449	9,682	+ 14.6%
その他	2,991	4,923	+ 64.6%
合計	27,651	50,979	+ 84.4%

2010/3



2011/3

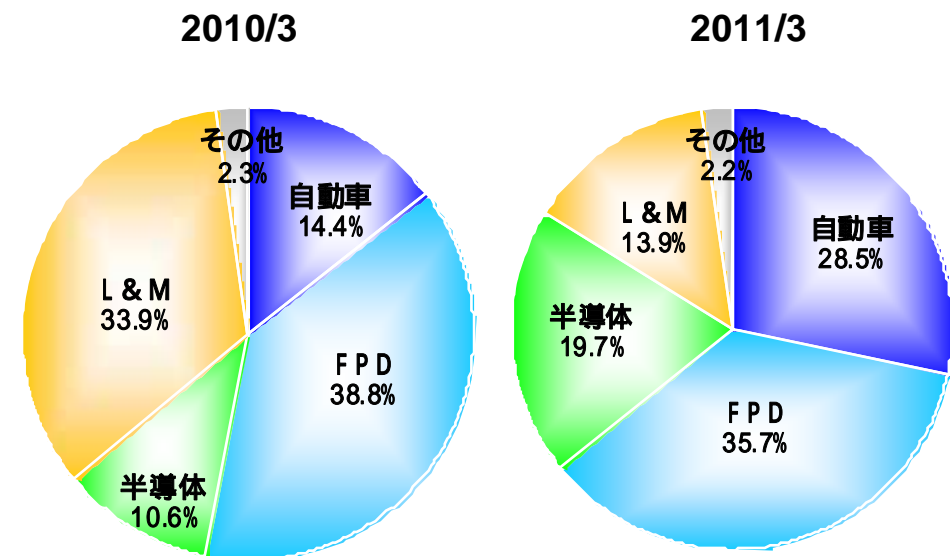


決算状況 事業部門別連結受注残高

半導体関連、自動車関連を中心に堅調に推移し、増加。

事業部門別受注残高の状況 単位:百万円

事業部門	2010/3	2011/3	前期比 増減率
自動車	2,084	6,076	+ 191.5%
FPD	5,634	7,630	+ 35.4%
半導体	1,542	4,204	+ 172.6%
L & M	4,920	2,976	39.5%
その他	335	466	+ 38.9%
合計	14,517	21,354	+ 47.1%



東日本大震災の影響

この度の東日本大震災において、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。
当社が受けた震災の影響は以下のとおりです。

当社の被害

- ・**人的被害**: 全社員および家族に被害なし。
- ・**物的被害**: 関東事業部にて社員食堂の天井が一部剥落するなどの軽微な被害あり。
生産に影響を与える重大な損害はなし。

受注への影響

現時点で震災の影響による受注のキャンセルなどはない。

一部の大手自動車メーカーや家電メーカーなどが業績予想の開示を控える中、今後の市場動向には注視が必要と認識しているが、当社としては被災されたお客様の復興支援を優先して取り組んでいる。

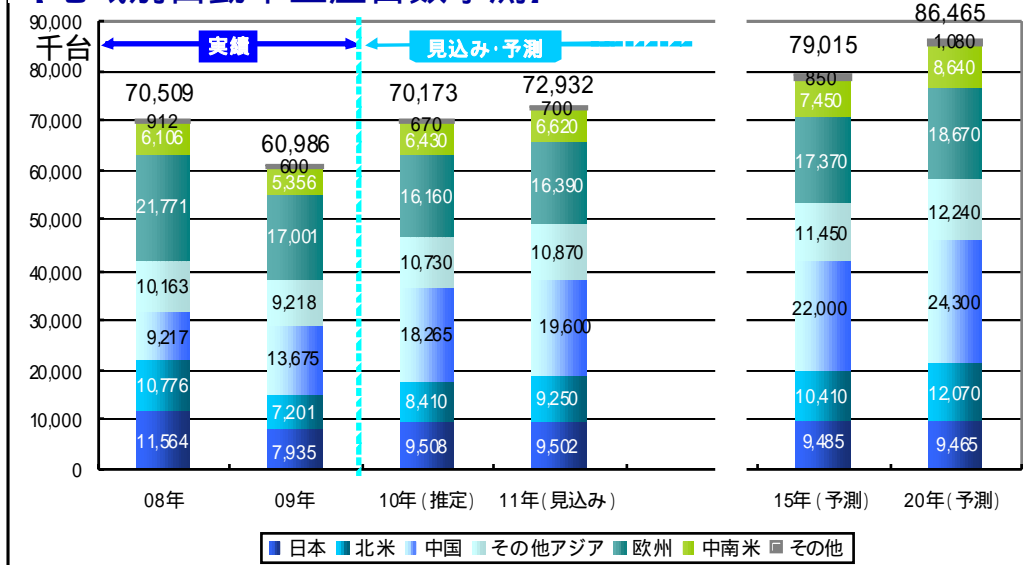
部品調達への影響

東北に拠点を置く仕入先からの部品調達に一部影響が出たが、他の地域からの代替品などで対応中。
当社の場合、購入品も大量納入することが少なく、比較的個別対応がしやすい。

市場動向および 2012年3月期業績の見通し

市場動向および2012年3月期業績の見通し 自動車分野の市場動向

【地域別自動車生産台数予測】



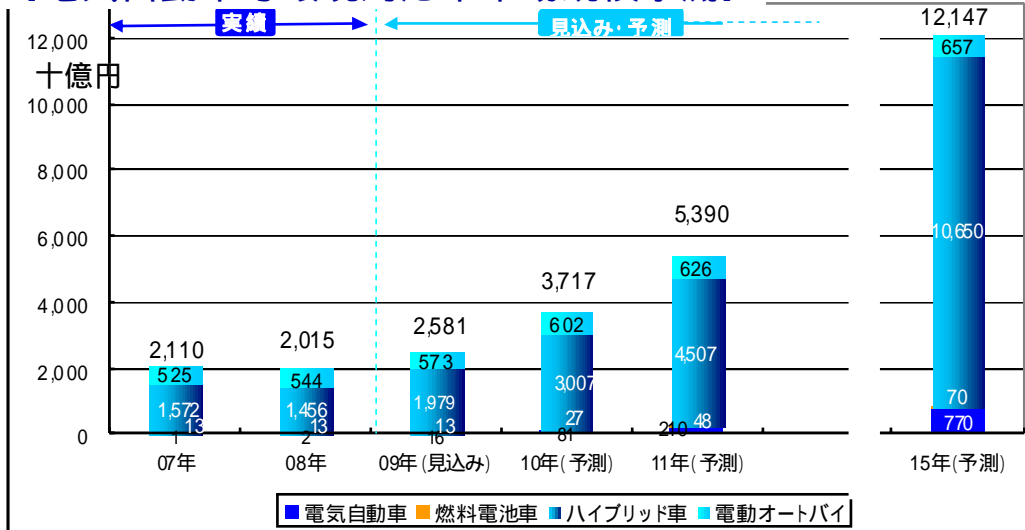
自動車関連市場

震災前の市場予測では国内の生産台数は微減。世界的には増加が見込み。

震災の影響により11年の国内メーカーの生産台数は大幅に減少見込み。

長期的には中国など新興国を中心に世界市場は拡大が続く。生産もアジアの増加が予測されている。

【電気自動車等環境対応車市場規模予測】



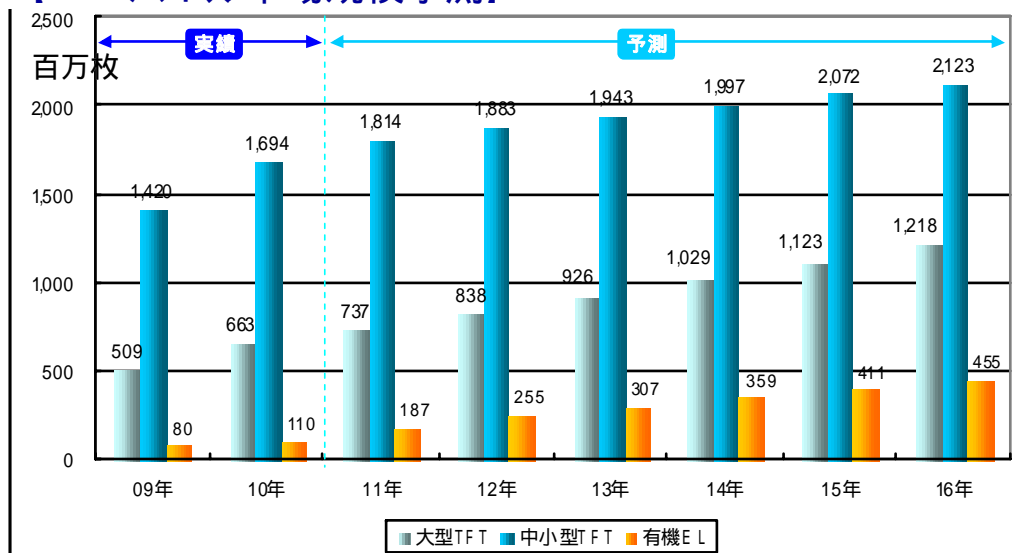
環境対応車種では、ハイブリッド車の堅調な成長が続き、電気自動車も漸増する見込み。

当社の今期見込み
北米市場と環境対応車種の好調さを背景に堅調に推移する見込み。

出所 上段グラフ: 調査会社S社資料
下段グラフ: 電動自動車関連市場の全貌 2009 (株富士経済)

市場動向および2012年3月期業績の見通し FPD分野の市場動向

【FPDパネル市場規模予測】



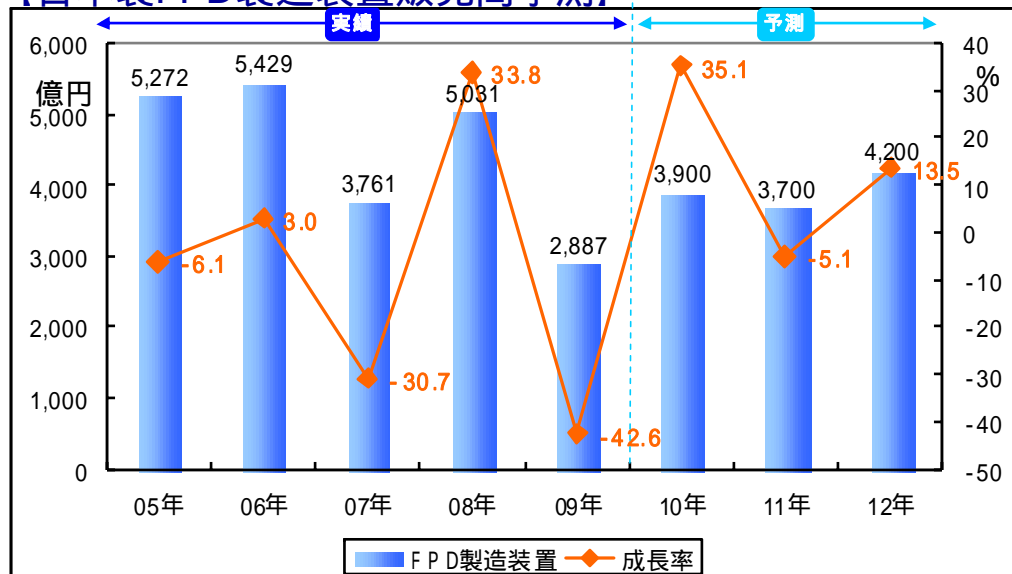
FPD関連市場

震災前の市場予測では、市場規模は拡大基調で推移する見込み。

スマートフォン、タブレット端末向け中小型FPDパネルは世界的に需要増加が続く。

有機ELパネル市場も本格化しており徐々に拡大する見込み。

【日本製FPD製造装置販売高予測】



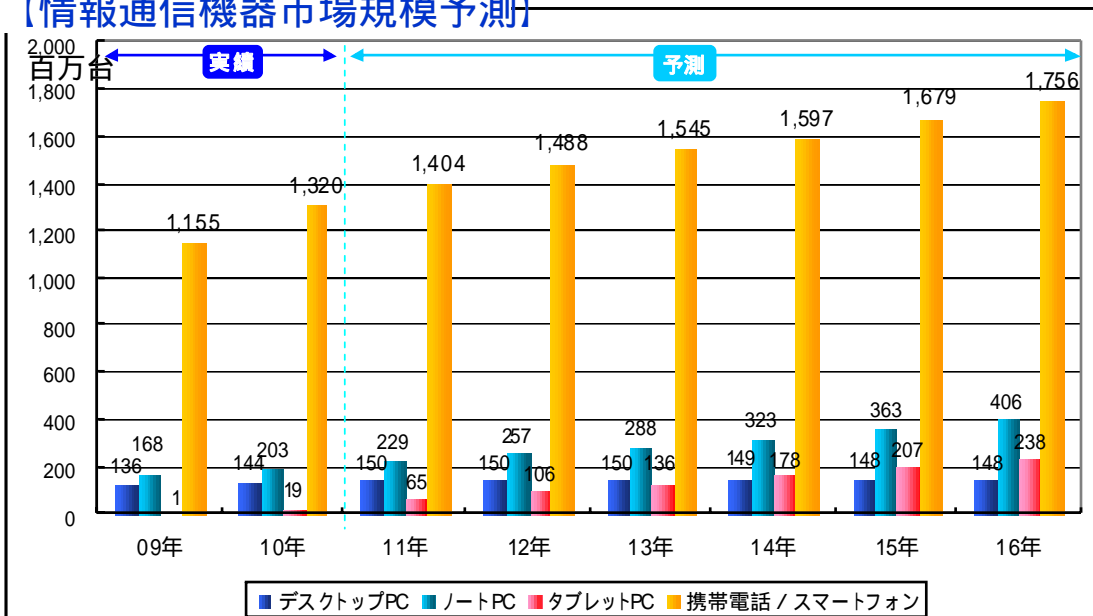
当社の今期見込み
中国向け設備などが堅調に推移し、前期の落ち込みから回復する見込み。

出所 上段グラフ:2011ワールドワイドエレクトロニクス市場総調査 (株)富士キメラ総研
下段グラフ:半導体・FPD製造装置 需要予測(2010年度~2012年度) (社団法人 日本半導体製造装置協会)

市場動向および2012年3月期業績の見通し

半導体・L & M・太陽電池分野の市場動向

【情報通信機器市場規模予測】



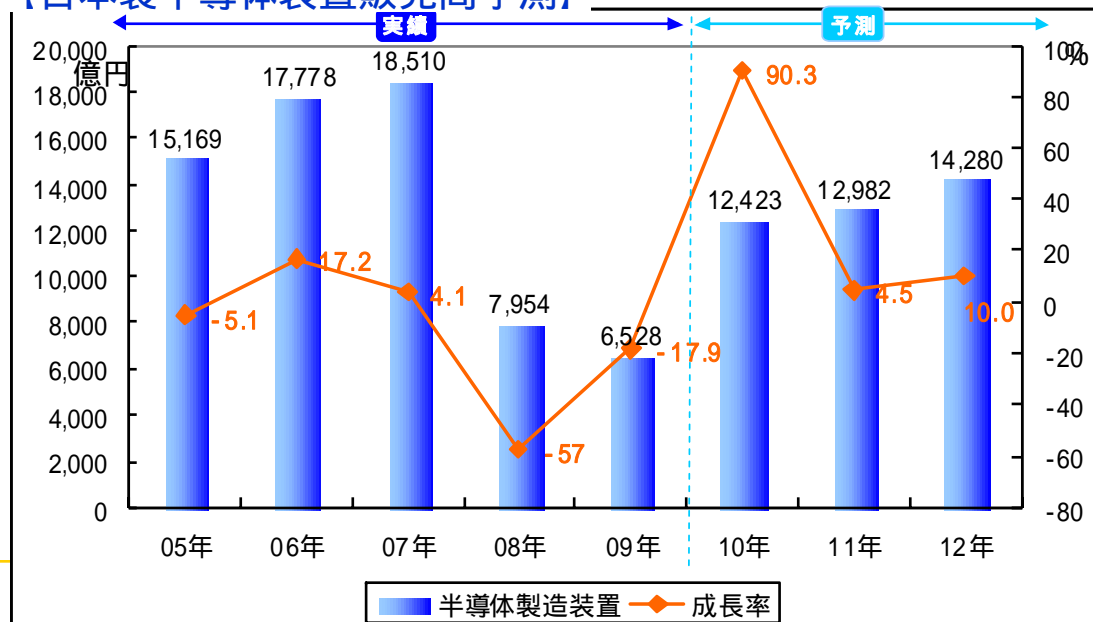
半導体関連市場

11年は震災の影響が懸念されるものの、スマートフォン等の需要拡大により、市場は拡大するものと見込む。

日米ともに需給環境は好転しており設備投資の増加が見込まれる。

当社の今期見込み
受注環境は良好であり、堅調に推移する見込み。

【日本製半導体装置販売高予測】

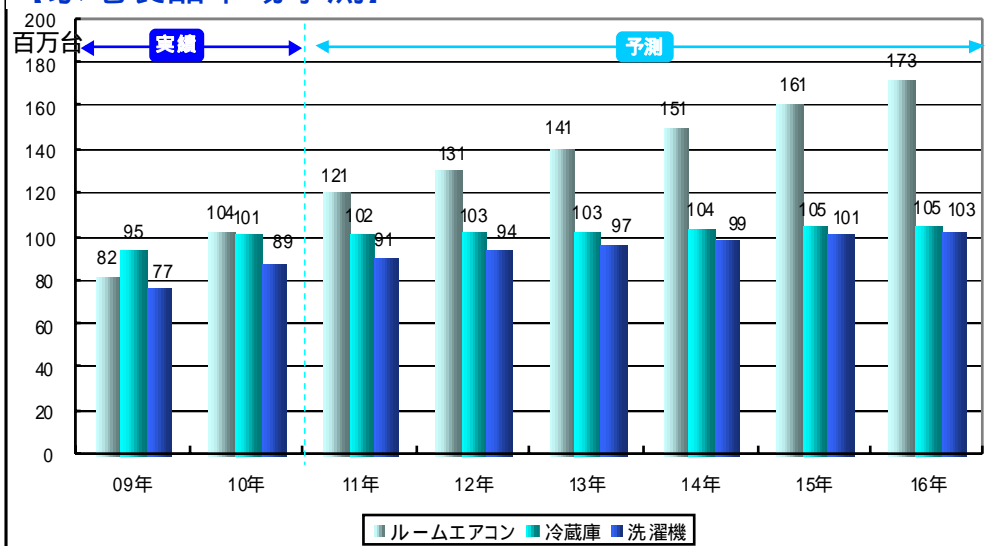


出所 上段グラフ:2011ワールドワイドエレクトロニクス市場総調査
(株)富士キメラ総研

下段グラフ:半導体・FPD製造装置 需要予測(2010年度~2012年度)
(社団法人 日本半導体製造装置協会)

市場動向および2012年3月期業績の見通し L & M・太陽電池分野の市場動向

【家電製品市場予測】



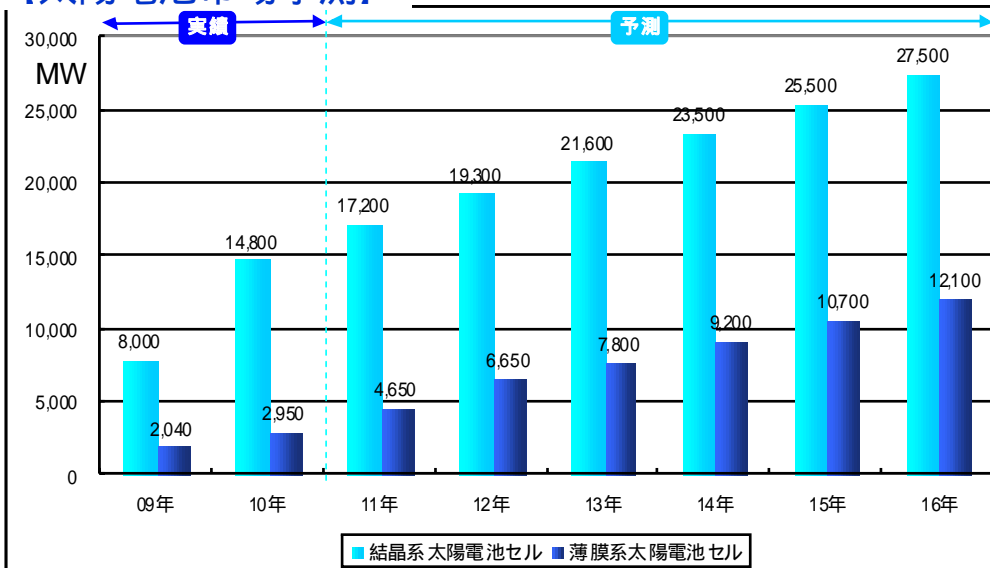
L & M関連市場

家電関連は新興国においては堅調な成長が続く見込み。

タイヤ関連は国内では自動車減産の影響で需要減だが世界市場は引き続き成長の見込み。

当社の今期見込み
タイヤ関連は売上の谷間となり、低調となる見込み。

【太陽電池市場予測】



太陽電池関連市場

原発事故の影響による環境意識の高まりから、国内外共に更なる成長が期待される。

当社の今期見込み
引き続き堅調に推移する見込み。

出所 上段グラフ:2011ワールドワイドエレクトロニクス市場総調査 (株富士キメラ総研)

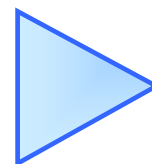
下段グラフ:同上

2009年度 2011年度
中期経営計画

“NEXT計画”
最終年度

重点5項目

1. 自前商品の企画・開発
2. 損益分岐点売上高の引き下げ
3. 個別採算の徹底管理
4. 生産効率の向上
5. 品質の向上



次期
中期経営計画
策定

Ⅲ 市場動向および2012年3月期業績の見通し

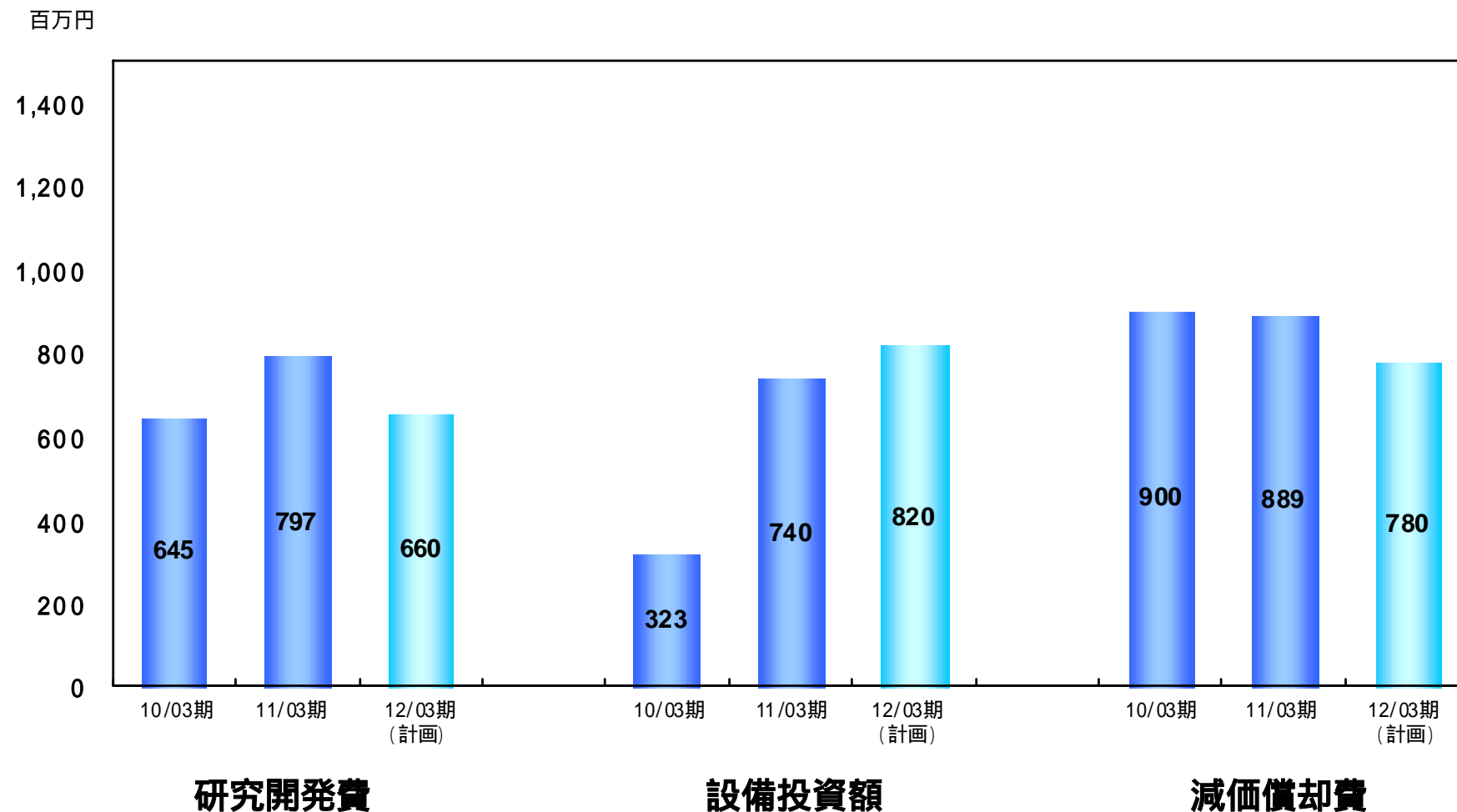
業績予想

(単位:百万円)

	2011年3月期 実績	2012年3月期			
		上期	下期	通期	前期比 増減率
売上高	44,142	27,500	22,500	50,000	+13.3%
自動車関連	6,193	6,300	4,300	10,600	+71.1%
FPD関連	9,299	6,000	6,100	12,100	+30.1%
半導体関連	12,230	9,700	5,000	14,700	+20.2%
L&M関連	11,626	3,700	4,500	8,200	△29.5%
その他	4,792	1,800	2,600	4,400	△8.2%
営業利益(率)	1,781(4.0)	1,200(4.4)	400(1.8)	1,600(3.2)	△10.2%
経常利益(率)	1,554(3.5)	1,100(4.0)	300(1.3)	1,400(2.8)	△10.0%
当期純利益(率)	941(2.1)	600(2.2)	200(0.9)	800(1.60)	△15.1%

市場動向および2012年3月期業績の見通し

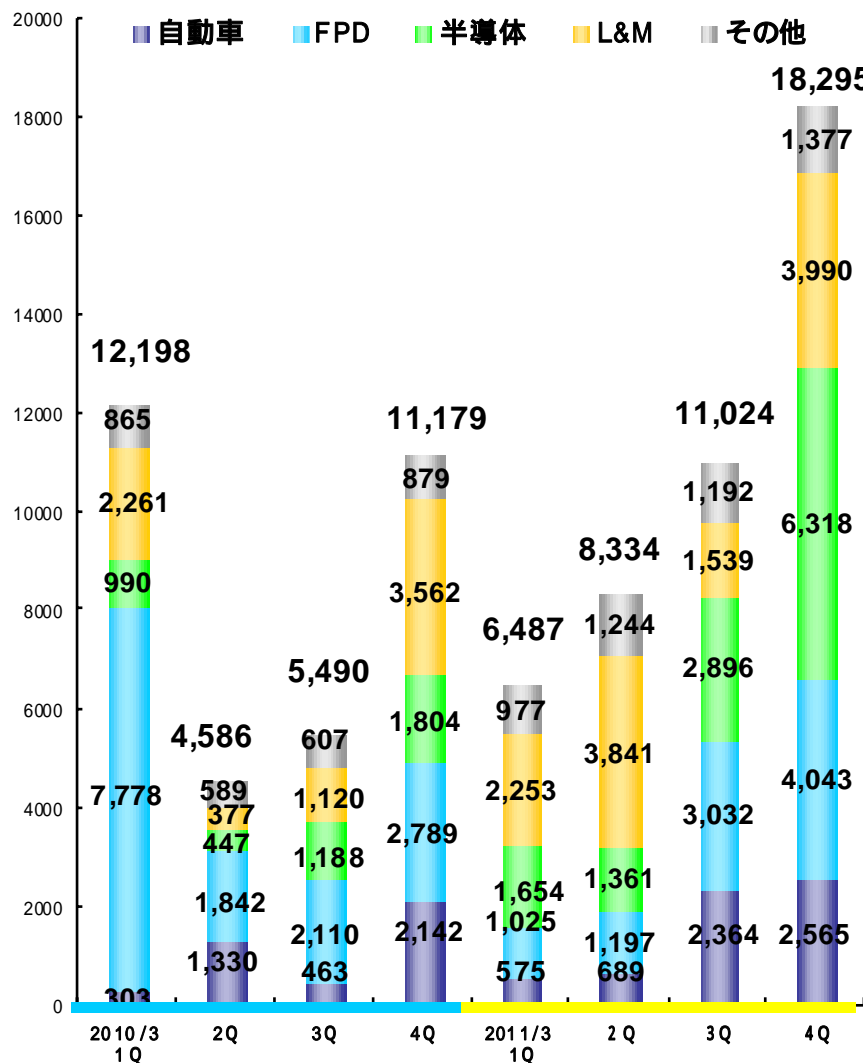
研究開発費・設備投資額・減価償却費



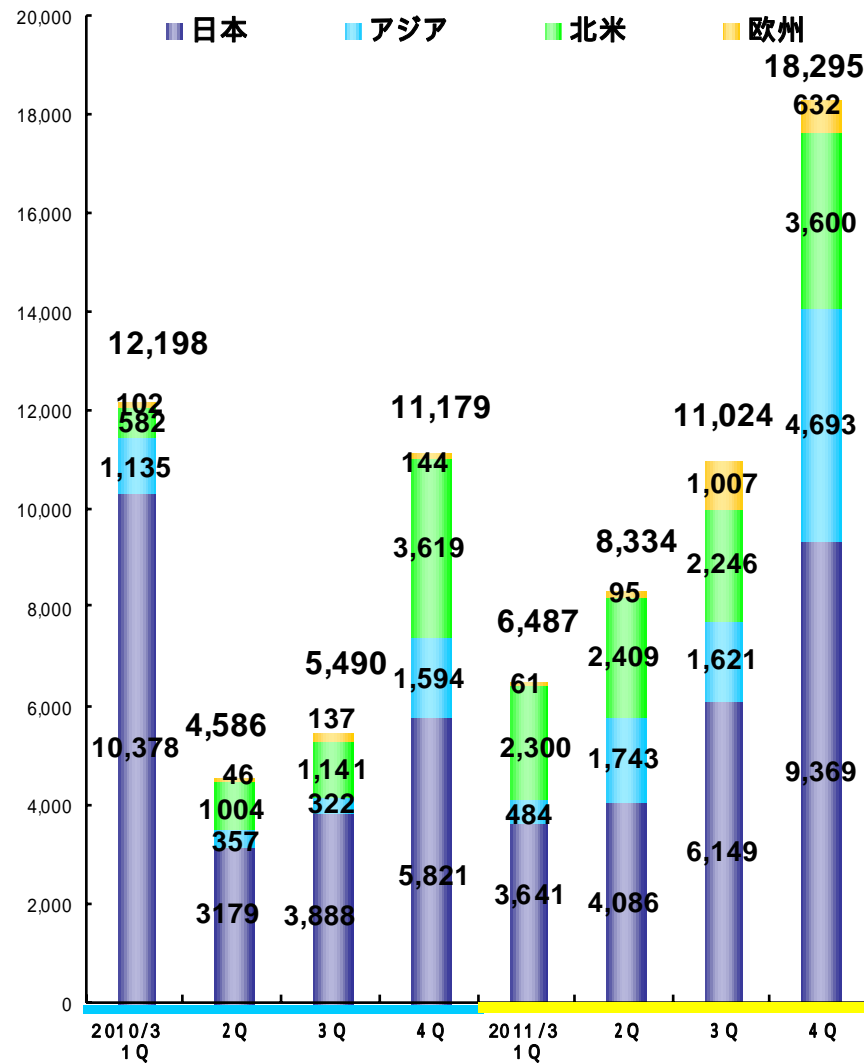
参考資料

2011年3月期（2011年3月31日）

事業部門別四半期売上高の推移

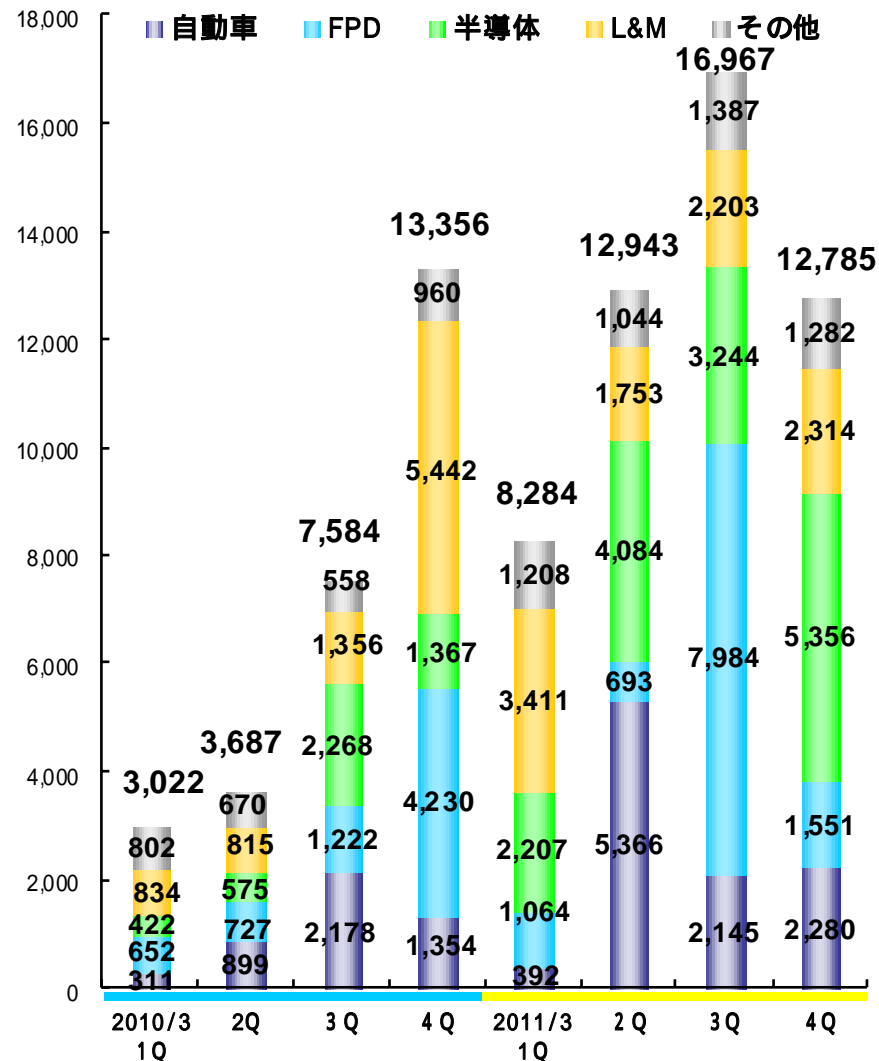


地域別四半期売上高の推移



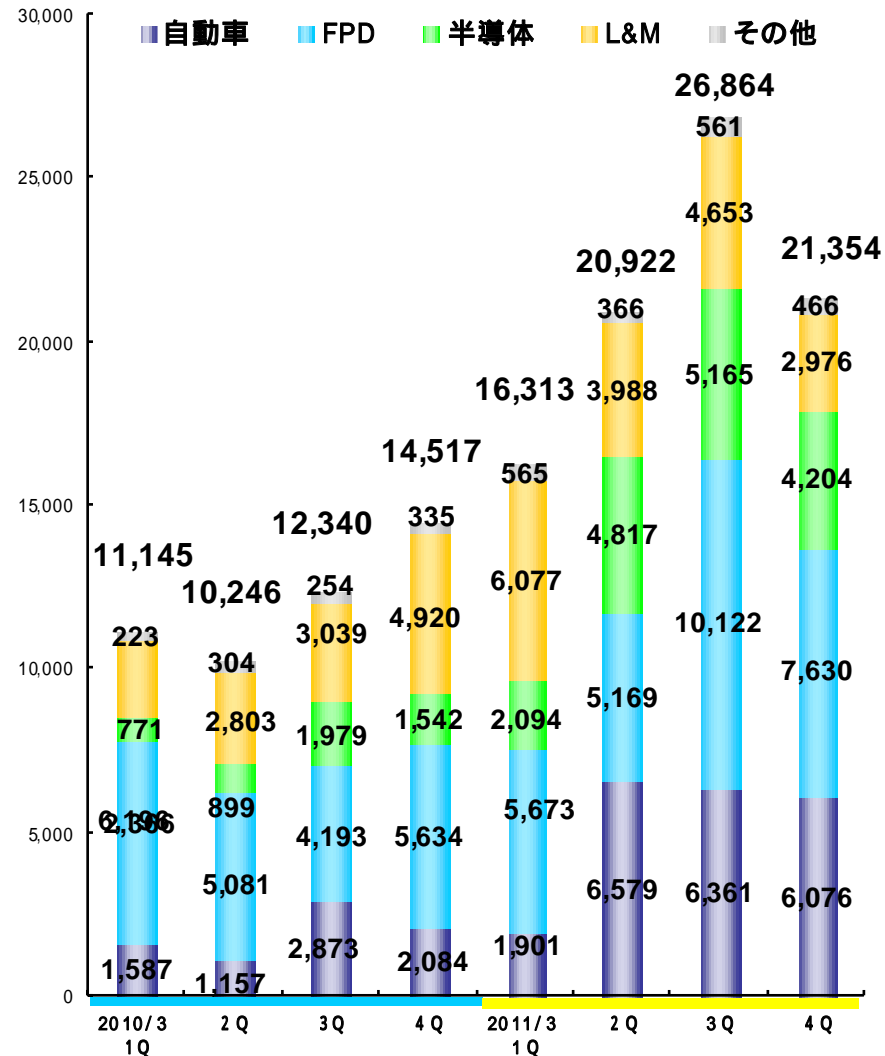
事業部門別四半期受注高の推移

百万円



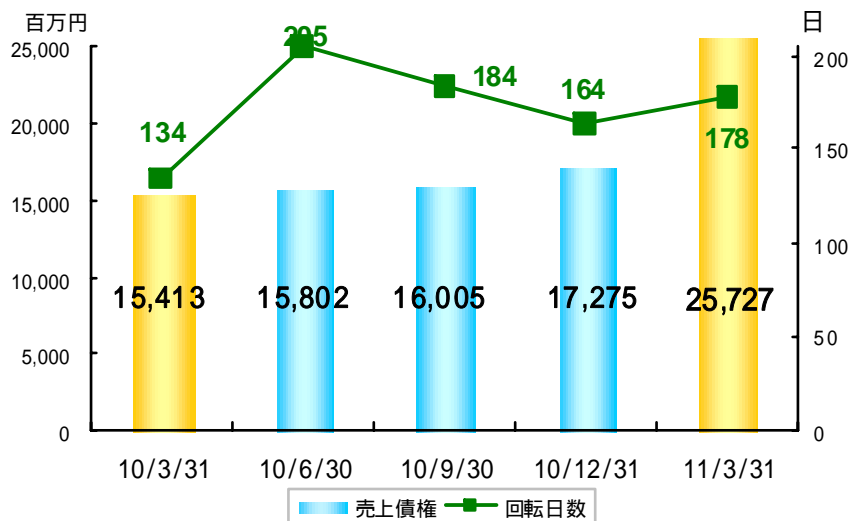
事業部門別四半期受注残高の推移

百万円

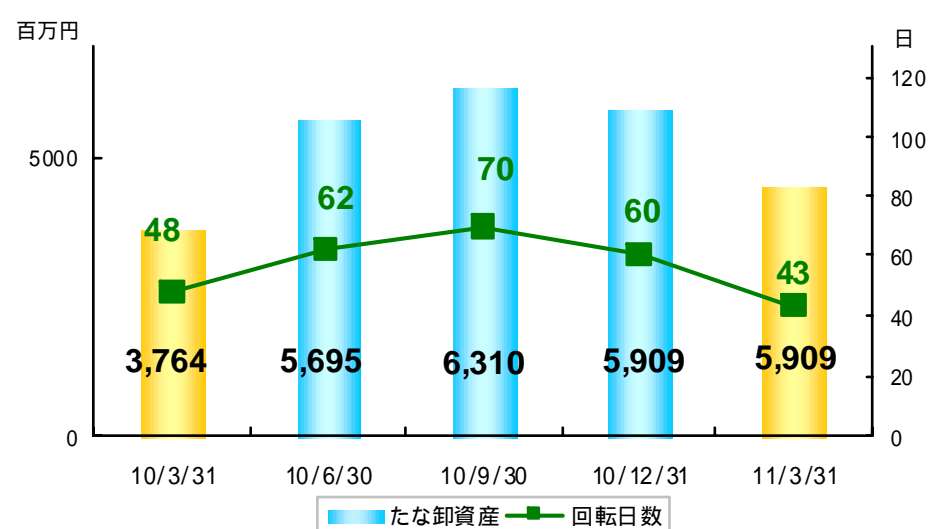


参考資料 主要指標

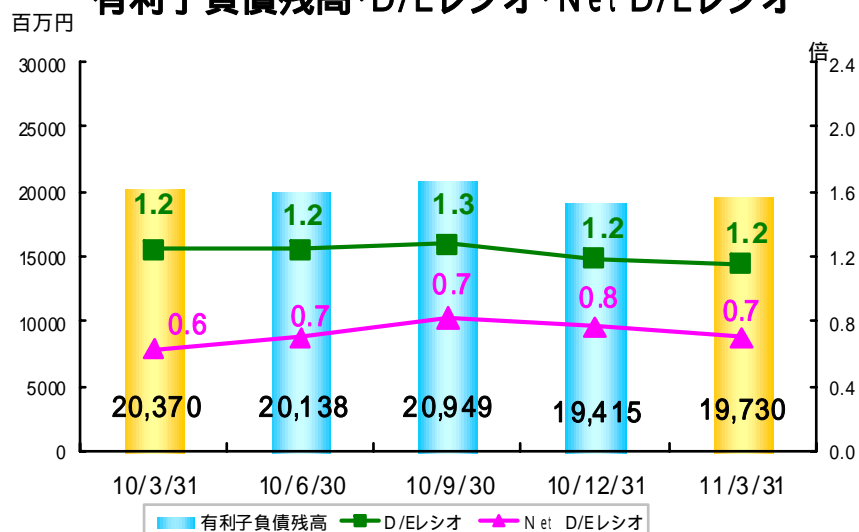
売上債権・売上債権回転日数



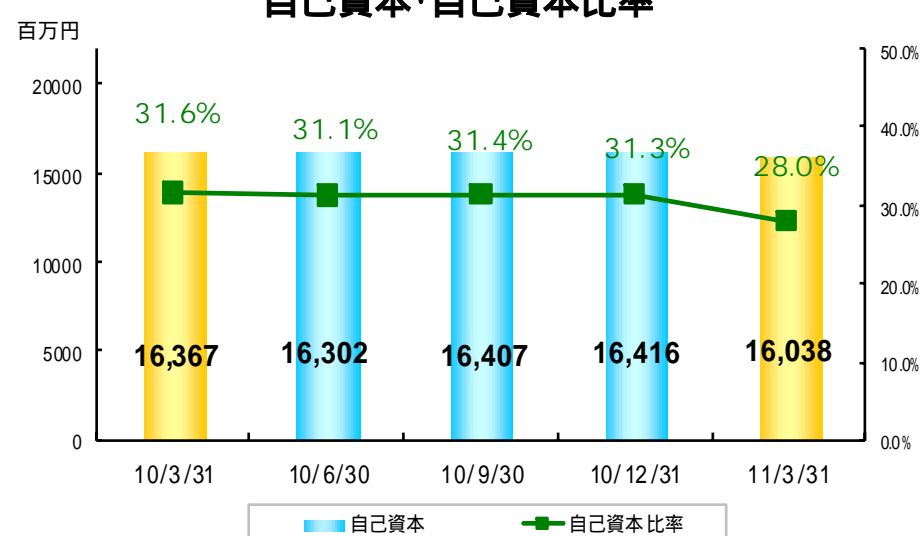
たな卸資産・たな卸資産回転日数



有利子負債残高・D/Eレシオ・Net D/Eレシオ



自己資本・自己資本比率



注) 売上債権回転日数、たな卸資産回転日数については、各四半期毎の期中平均値にて算出しております。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、経済動向、他社との競争状況、為替レートなど潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。